



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 第一工業製薬株式会社

コード番号 4461 URL https://www.dks-web.co.jp

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 坂本 隆司

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役財務本部長 (氏名) 浦山 勇 TEL 075-323-5955

四半期報告書提出予定日 平成29年11月9日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	28,071	8.9	2,357	45.7	2,151	46.0	1,411	48.1
29年3月期第2四半期	25,766	△5.0	1,617	1.1	1,473	△2.8	953	△5.0

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 1,939百万円 (181.6%) 29年3月期第2四半期 688百万円 (△27.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	27.83	27.82
29年3月期第2四半期	18.03	18.02

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	70,291	29,371	40.0	553.72
29年3月期	69,046	28,044	38.9	529.94

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 28,107百万円 29年3月期 26,854百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	57,800	10.6	4,000	1.4	3,800	0.7	2,500	0.4	49.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	53,421,609株	29年3月期	53,421,609株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	2,659,622株	29年3月期	2,747,089株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	50,719,571株	29年3月期2Q	52,858,727株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績や雇用環境の改善が続き、景気は回復基調で推移しました。業種間のばらつきが見られるなか、緩やかな回復に留まっております。海外の経済情勢は、米国に見られる企業業績の回復や個人消費の増加などを背景に緩やかな成長が続いております。

化学業界におきましては、基礎原料のナフサ価格は依然として低い水準で推移していますが、米国や欧州の政治動向や北朝鮮問題などの地政学的リスクの高まりなど、先行き不透明感と共に、景気下押し要因が残存しております。

このような状況のもと、第3の創業と受け止めた当社グループの5カ年経営計画「REACT1000－飛躍への行動を－」は、中間点の3年目を迎えました。本年度は、営業行動の革新を掲げ業績拡大に努めるとともに、平成27年12月に商業生産を開始した霞工場のマザー工場化を加速、充実させ、さらに海外展開に拍車をかけてまいります。

当第2四半期連結累計期間の業績といたしましては、売上高は280億71百万円（前年同四半期比8.9%増）、営業利益は23億57百万円（前年同四半期比45.7%増）、経常利益は21億51百万円（前年同四半期比46.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は14億11百万円（前年同四半期比48.1%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<界面活性剤>

界面活性剤の売上高は、総じて伸長しました。

国内では、ゴム・プラスチック用途、トイレタリー用途はやや低調に推移しましたが、機械・金属用途は順調に推移し、石鹼・洗剤用途は顕著に伸長しました。

海外では、塗料・色材用途はやや低調に推移しましたが、繊維用途、ゴム・プラスチック用途は堅調に推移しました。

その結果、当セグメントの売上高は104億19百万円（前年同四半期比5.8%増）、営業利益は10億32百万円（前年同四半期比7.4%増）となりました。

<アメリティ材料>

アメリティ材料の売上高は、総じて好調に推移しました。

国内では、セルロース系高分子材料は、医薬品用途は堅調に推移し、エネルギー・環境用途は好調に推移しました。シヨ糖脂肪酸エステルは食品用途が堅調に推移し、ビニル系高分子材料はゴム・プラスチック用途等が堅調に推移しました。

海外では、シヨ糖脂肪酸エステルは食品用途はやや低調に推移しましたが、化粧品用途は好調に推移しました。

その結果、当セグメントの売上高は36億54百万円（前年同四半期比4.7%増）、営業利益は3億4百万円（前年同四半期比127.4%増）となりました。

<ウレタン材料>

ウレタン材料の売上高は、総じて伸長しました。

建築用途等の機能性ウレタンは大きく落ち込みましたが、土木用薬剤は公共工事の増加により大幅に伸長しました。フロン規制に関連する環境配慮型の合成潤滑油は伸長しました。

その結果、当セグメントの売上高は47億13百万円（前年同四半期比7.1%増）、営業利益は60百万円（前年同四半期比55百万円の増加）となりました。

<機能材料>

機能材料の売上高は、総じて大幅に伸長しました。

国内では、水系ウレタン樹脂は繊維用途が好調に推移し、難燃剤はゴム・プラスチック用途が伸長し、光硬化樹脂用材料はIT・電子用途が大幅に伸長しました。

海外では、難燃剤はゴム・プラスチック用途が大幅に伸長しました。

その結果、当セグメントの売上高は69億3百万円（前年同四半期比14.1%増）、営業利益は8億57百万円（前年同四半期比68.6%増）となりました。

<電子デバイス材料>

電子デバイス材料の売上高は、総じて顕著に伸長しました。

射出成形用ペレットは低迷しましたが、太陽電池用途の導電性ペーストは需要の回復により顕著に伸長しました。

その結果、当セグメントの売上高は23億81百万円（前年同四半期比20.8%増）、営業利益は1億2百万円（前年同四半期比93百万円の増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は354億77百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億70百万円減少いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が21億74百万円増加しましたが、現金及び預金が27億16百万円減少したことなどによるものであります。固定資産は348億14百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億15百万円増加いたしました。これは主に四日市霞工場における非イオン界面活性剤製造設備の建設等により有形固定資産が8億18百万円、投資有価証券が4億69百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、総資産は702億91百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億45百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は229億74百万円となり、前連結会計年度末に比べ24億27百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が8億80百万円、短期借入金が4億63百万円、設備関係未払金などのその他（流動負債）が11億53百万円増加したことなどによるものであります。固定負債は179億45百万円となり、前連結会計年度末に比べ25億9百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が25億円減少したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は、409億20百万円となり、前連結会計年度末に比べ81百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は293億71百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億26百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益14億11百万円及び剰余金の配当6億8百万円により利益剰余金が8億3百万円、その他有価証券評価差額金が3億92百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、自己資本比率は40.0%（前連結会計年度末は38.9%）となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末と比べて27億47百万円減少し、65億48百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

営業活動の結果、得られた資金は17億10百万円（前年同四半期は8億68百万円）となりました。これは、売上債権の増加21億69百万円（前年同四半期は13億30百万円）などにより資金が減少したことに対し、税金等調整前四半期純利益20億73百万円（前年同四半期は14億19百万円）、減価償却費12億52百万円（前年同四半期は11億21百万円）などにより資金が増加したことによるものです。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

投資活動の結果、使用した資金は15億72百万円（前年同四半期は13億97百万円）となりました。これは、非イオン界面活性剤製造設備の建設等による有形固定資産の取得11億32百万円（前年同四半期は13億16百万円）などにより資金が減少したことによるものです。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

財務活動の結果、使用した資金は28億76百万円（前年同四半期は2億89百万円）となりました。これは、長期借入金の返済23億50百万円（前年同四半期は16億87百万円）、配当金の支払い6億5百万円（前年同四半期は5億26百万円）などにより資金が減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年9月28日付で公表いたしました通期の連結業績予想からの変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,379	6,663
受取手形及び売掛金	14,832	17,007
商品及び製品	6,692	6,695
仕掛品	35	29
原材料及び貯蔵品	1,683	2,088
前払費用	245	300
繰延税金資産	339	360
その他	2,750	2,338
貸倒引当金	△10	△7
流動資産合計	35,947	35,477
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,355	11,104
機械装置及び運搬具(純額)	5,646	5,524
工具、器具及び備品(純額)	407	423
土地	9,358	9,418
リース資産(純額)	700	638
建設仮勘定	922	2,098
有形固定資産合計	28,390	29,208
無形固定資産	387	373
投資その他の資産		
投資有価証券	3,217	3,687
長期貸付金	23	422
長期前払費用	324	272
繰延税金資産	51	51
退職給付に係る資産	264	361
その他	445	443
貸倒引当金	△6	△6
投資その他の資産合計	4,320	5,232
固定資産合計	33,098	34,814
資産合計	69,046	70,291

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,464	11,344
短期借入金	6,001	6,464
リース債務	299	297
未払法人税等	532	500
賞与引当金	603	581
未払事業所税	35	18
未払費用	386	391
繰延税金負債	2	—
その他	2,222	3,375
流動負債合計	20,547	22,974
固定負債		
長期借入金	18,593	16,092
リース債務	819	693
繰延税金負債	426	633
退職給付に係る負債	262	198
資産除去債務	72	72
その他	279	254
固定負債合計	20,454	17,945
負債合計	41,001	40,920
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,895	8,895
資本剰余金	7,218	7,219
利益剰余金	11,300	12,103
自己株式	△1,120	△1,085
株主資本合計	26,293	27,133
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	145	537
繰延ヘッジ損益	△2	△0
為替換算調整勘定	206	199
退職給付に係る調整累計額	212	238
その他の包括利益累計額合計	561	974
新株予約権	3	—
非支配株主持分	1,186	1,263
純資産合計	28,044	29,371
負債純資産合計	69,046	70,291

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	25,766	28,071
売上原価	19,218	20,746
売上総利益	6,547	7,325
販売費及び一般管理費	4,930	4,967
営業利益	1,617	2,357
営業外収益		
受取利息	3	2
受取配当金	29	27
持分法による投資利益	46	31
その他	35	62
営業外収益合計	114	123
営業外費用		
支払利息	139	123
補償関連費用	47	160
その他	72	46
営業外費用合計	259	330
経常利益	1,473	2,151
特別損失		
固定資産処分損	53	78
特別損失合計	53	78
税金等調整前四半期純利益	1,419	2,073
法人税、住民税及び事業税	339	479
法人税等調整額	50	85
法人税等合計	389	564
四半期純利益	1,030	1,508
非支配株主に帰属する四半期純利益	77	96
親会社株主に帰属する四半期純利益	953	1,411

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	1,030	1,508
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	89	392
繰延ヘッジ損益	3	1
為替換算調整勘定	△354	20
退職給付に係る調整額	△8	26
持分法適用会社に対する持分相当額	△70	△9
その他の包括利益合計	△341	431
四半期包括利益	688	1,939
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	726	1,824
非支配株主に係る四半期包括利益	△37	115

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,419	2,073
減価償却費	1,121	1,252
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△2
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△121	△199
受取利息及び受取配当金	△33	△30
支払利息	139	123
持分法による投資損益(△は益)	△46	△31
固定資産処分損益(△は益)	53	78
売上債権の増減額(△は増加)	△1,330	△2,169
たな卸資産の増減額(△は増加)	572	△378
仕入債務の増減額(△は減少)	△463	882
その他	141	585
小計	1,452	2,183
利息及び配当金の受取額	56	56
利息の支払額	△140	△122
法人税等の支払額	△500	△407
営業活動によるキャッシュ・フロー	868	1,710
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,316	△1,132
有形固定資産の売却による収入	27	—
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
定期預金の預入による支出	△85	△114
定期預金の払戻による収入	—	81
貸付けによる支出	—	△400
貸付金の回収による収入	0	0
その他	△22	△6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,397	△1,572
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	344	262
長期借入れによる収入	1,800	—
長期借入金の返済による支出	△1,687	△2,350
リース債務の返済による支出	△181	△150
配当金の支払額	△526	△605
非支配株主への配当金の支払額	△39	△38
その他	1	7
財務活動によるキャッシュ・フロー	△289	△2,876
現金及び現金同等物に係る換算差額	△109	△9
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△927	△2,747
現金及び現金同等物の期首残高	9,401	9,296
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,473	6,548

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	界面活性剤	アメニティ材料	ウレタン材料	機能材料	電子デバイス材料	合計
売上高						
外部顧客への売上高	9,851	3,491	4,400	6,052	1,970	25,766
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	9,851	3,491	4,400	6,052	1,970	25,766
セグメント利益(営業利益)	961	133	4	508	8	1,617

(注) 報告セグメント利益の合計金額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	界面活性剤	アメニティ材料	ウレタン材料	機能材料	電子デバイス材料	合計
売上高						
外部顧客への売上高	10,419	3,654	4,713	6,903	2,381	28,071
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	10,419	3,654	4,713	6,903	2,381	28,071
セグメント利益(営業利益)	1,032	304	60	857	102	2,357

(注) 報告セグメント利益の合計金額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。